



エクソソーム 2016

～エクソソーム研究は医療をどう変えるか?～

エクソソームはボヌム Bonum (善) かマルム Malum (悪) か

ファシリテーター：落谷 孝広 (国立がん研究センター分子細胞治療研究分野)

<http://www.aeplan.co.jp/aes/exosome/>



2016年10月26日(水)

10:20～16:35 (開場 10:00)

会場：中央大学駿河台記念館2階 281号室

●最寄駅 JR 御茶ノ水駅 地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5

<http://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>

参加費：¥3,000 (消費税込み)

※昼食付 (お弁当・コーヒー) 飲食物は共催企業のご提供となります。

※クレジットカードでのお支払いとなります

参加申込：本セミナーホームページよりお申し込みください。

定員 150名 申込締切：2016年10月17日(月)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

共催企業の競合他社の方は、お申し込みをお断りする場合がございます。

共催企業：・コスモ・バイオ株式会社 ・ジーエルサイエンス株式会社

・東レ株式会社/株式会社鎌倉テクノサイエンス ・フナコシ株式会社

(50音順)

エクソソーム 2016 の開催にあたって

西欧では善悪、東洋では陰陽という概念があるように、我々の体のあらゆる細胞が分泌するエクソソームにも、その由来する細胞の起源によって、善の機能を持つ場合と悪の機能を持つエクソソームに分かれる。前者の場合 (善または陽)、例えば、脂肪組織などの間葉系幹細胞が分泌するエクソソームには、炎症を抑えることで組織修復に作用したり、アポトーシスを抑制するなどの再生能力が備わっている。したがって、間葉系幹細胞のエクソソームは再生医薬品として開発する価値が出てくる。これに対して、後者の場合 (悪または陰)、例えばがん細胞の分泌するエクソソームは、がんの pathogenic components を内包する形で、周囲の複数の細胞にトランスファーされることで、がんの進展や血管新生、免疫細胞の抑制、そして転移などを制御する重要な役割を担っていることが次々と明らかにされている。したがって、がん細胞のエクソソーム分泌を抑えることが、がんの治療薬となりうる。我々人類は、このような細胞が分泌する細胞外小胞の真の生物学的意義を正しく理解することで、疾患に対する新しい概念の確立と、それをもとにした新しい疾患診断・治療法の開発に挑戦することが可能となる。本セミナーでは、謎に包まれたエクソソームの正体を暴くことで、医療がどう変わるかを予測する。

国立がん研究センター

分子細胞治療研究分野 主任分野長

落谷 孝広

プログラム

【オープニング】

10:20～10:30 落谷 孝広先生（国立がん研究センター 分子細胞治療研究分野 主任分野長）

【招待講演-1】

10:30～11:10 **がんの新規診断・治療薬としてのエクソソーム**

落谷 孝広先生（国立がん研究センター 分子細胞治療研究分野）

【共催企業プレゼンテーション A】

11:10～11:35 企業プレゼンテーション 1 : コスモ・バイオ株式会社

がんの発生・転移・進行の情報伝達役「エクソソーム」の高精度単離法

西潟 久美子（コスモ・バイオ株式会社）

11:35～12:00 企業プレゼンテーション 2 : フナコシ株式会社

エクソソーム改変ツール：核酸およびタンパク質のエクソソームへの導入方法

永山 充（フナコシ株式会社 テクニカルサポート部）

【ランチタイム】

12:00～13:15 **昼食休憩** ※昼食提供：共催企業。※共催企業とのディスカッションタイム

【招待講演-2】

13:15～13:55 **エクソソームの臨床応用**

黒田 雅彦先生（東京医科大学 医学部 分子病理学）

【共催企業プレゼンテーション B】

13:55～14:20 企業プレゼンテーション 3 : ジーエルサイエンス株式会社

サイズ排除クロマトグラフィーを用いたエクソソーム精製法のご紹介

鈴木 健一（ジーエルサイエンス株式会社）

14:20～14:45 企業プレゼンテーション 4 : 東レ株式会社/株式会社鎌倉テクノサイエンス

エクソソームの単離と高感度 DNA チップ 3D-Gene®を用いた解析

永田 一恵（東レ株式会社 新事業開発部門）

14:45～15:15 **Coffee Break**

【招待講演-3】

15:15～15:55 **神経変性疾患とエクソソーム ～アルツハイマー病病理を中心として～**

湯山 耕平先生

（北海道大学大学院 先端生命科学研究院 次世代物質生命科学研究センター 生体機能化学研究室）

15:55～16:35 **パネルディスカッション**

招待講演者、共催企業プレゼンテーション演者等

16:35 **Close**

主催・お問合せ先

株式会社エー・イー企画 担当:衛藤 匡 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 岩波書店一ツ橋別館 4F

Tel.03-3230-2744 E-Mail : aeos1610@aeplan.co.jp